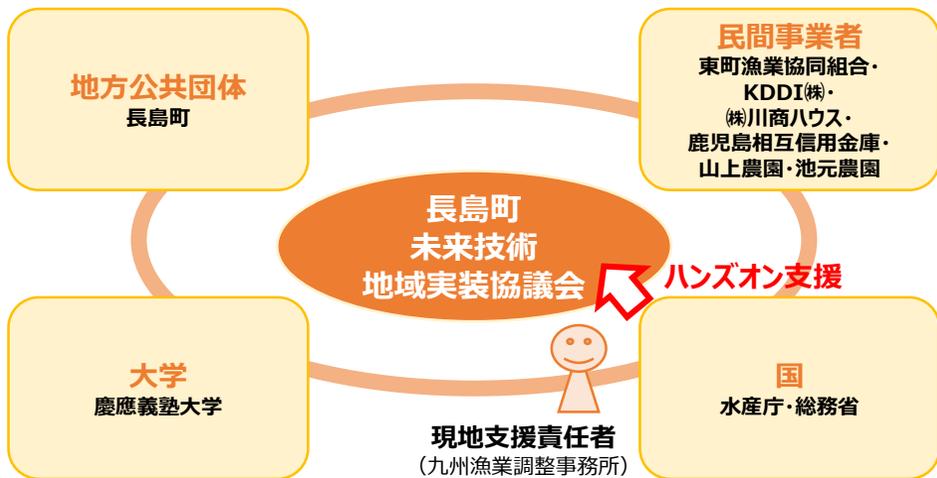


課題

- 漁業における**人材不足・環境変化のモニタリングコスト増大・水産資源の枯渇**
- 移住定住促進のための**コスト増大**
- 農業分野における**生産コスト増大・人材不足**

推進体制



課題解決に向けた取組

- 日本一のぶりの養殖業を誇る長島町の水産業を**先端技術により、さらに稼げる産業**にしていく
- 全国から移住定住の促進ができる魅力ある地域にしていく
- だんだん畑を利用した赤土じゃがいもづくり・柑橘栽培を持続可能な産業にする

日本一の鰯のスマート養殖事業

- ・**潜水ロボット**を使った養殖生け簀の清掃
- ・広域**赤潮モニタリング**におけるドローンの活用
- ・養殖用種苗の効率的な確保のための**ドローンによる漁場探索**
- ・生産から出荷までを一貫して**ロボットが行う加工場の自動化**



鰯養殖の給餌の様子

VR/ARを活用した移住定住相談事業

- ・町内各地の不動産情報（空き家）の**VR内見**
- ・**AR技術**をつかった遊休資産（空き家など）リノベーション体験
- ・教育環境や仕事といった生活などを体験できる**VRコンテンツ**
- ・遠隔からでも対応可能な移住相談窓口（**リモート接客**）



VR/ARによる見える化

山間部におけるスマート農業事業

- ・**土壌分析の画像診断**による効率的な栽培方法の確立
- ・山間部のだんだん畑に利用できる**ドローン活用**
- ・柑橘栽培の消毒・肥料の**自動散布システムの確立**



柑橘の露地栽培の様子

2021年度の
主な取組

- ぶりの養殖生簀の視察と**斃死魚回収ROV・赤潮モニタリング**の計画策定
- VRをつかった移住相談窓口**のトライアルと事業計画を策定
- 検討した課題・ソリューションを現地担当者とりモート会議を行い、**事業に対する技術研究**を推進

取組内容

AR/VRを活用した不動産案内実験（2021年4月）

- 長島町・川商ハウス・株式会社Synamonの3社連携により「VRを活用した不動産案内」の実験を行った
- AR/VRを活用した不動産案内の特徴
 - ・遠隔からVR空間に入ることができ、複数人がリアルタイムでコミュニケーションをとることができる
 - ・360度カメラで撮影した「島の生活の様子」や「物件の外観」などを表示しながら案内することができる
 - ・不動産情報を乗せた画像資料などを、バーチャル空間で資料のように説明することができる
- 展開方法
 - ・移住促進のためのイベント・空き家の活用方法の紹介など運用面での活用方法を検討し2022年度に実証計画中



VRヘッドマウントを装着して案内をしている様子



VR上の不動産紹介画面



画像を使った案内者の操作画面